

令和5年3月定例会

予算委員会
全体会会議録
(新年度・その2)

3月20日(月)

- 日時 令和5年3月20日(月)
○場所 議会棟2階 議場
○付議事件 議案第31号 令和5年度防府市一般会計予算
-

○出席委員(24名)

委員長	久保 潤爾
副委員長	村木 正弘
委員	青木 明夫
委員	石田 卓成
委員	今津 誠一
委員	上田 和夫
委員	牛見 航
委員	宇多村史朗
委員	梅本 洋平
委員	河杉 憲二
委員	河村 孝
委員	清水 力志
委員	曾我 好則
委員	高砂 朋子
委員	田中 健次
委員	橋本龍太郎
委員	藤村こずえ
委員	松村 学
委員	三原 昭治
委員	森重 豊
委員	安村 政治
委員	山田 耕治
委員	吉村 祐太郎
委員	和田 敏明

○欠席委員

なし

○その他の出席者

議長 田中 敏靖

○討論に出席した者（13名）

教育長	江山 稔
総務部長	能野 英人
総合政策部長	石丸 泰三
地域交流部長	杉江 純一
生活環境部長	金澤 哲
健康福祉部長	藤井 隆
産業振興部長	白井 智浩
土木都市建設部長	石光 徹
会計管理者	寺畑 俊孝
教育部長	高橋 光男
議会事務局長	藤井 一郎
消防長	米本 静雄
上下水道事業管理者	河内 政昭

○出席書記 秋里 あゆみ

午前10時 開会

○久保委員長 おはようございます。ただいまから予算委員会を開催いたします。

議案第31号 令和5年度防府市一般会計予算

○久保委員長 これより議案第31号令和5年度防府市一般会計予算についての審査を行います。

委員の皆様におかれましては、分科会での御審査、大変お疲れさまでございました。

各分科会主査から分科会において審査した結果、全体会で審査すべき事項はない旨の報告を受けております。

したがって、主査報告に対する質疑は省略し、議員間討議を行います。

どなたかございますでしょうか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○久保委員長 ないようですので、議員間討議を終結いたします。

○和田委員 本案に対する修正案を提出いたします。

○久保委員長 ただいま修正の動議が提出されました。

ほかに修正案を提出される方はございませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○久保委員長 ただいま、和田委員から本案に対して修正案が提出されました。ここで修正案配付のため、暫時休憩いたします。

午前10時01分 休憩

午前10時03分 開議

○久保委員長 休憩を閉じて、会議を再開いたします。

それでは、和田委員から提出されました修正案の説明を求めます。

○和田委員 1点目に、議案第31号令和5年度一般会計予算中、10款教育費、1項教育総務費の通学用かばん支給事業については、令和4年度から既に事業がスタートしております。

しかしながら、新小学1年生の保護者や祖父母、あるいは一部学校運営協議会から、子どもたちの夢を奪う、違うかばんを持つことでいじめに遭うのでは、新小学1年生やその保護者、祖父母のランドセルを買うという楽しみを奪うなど、多くの批判的な意見が寄せられております。行政が、また議会がいじめの不安材料や子どもたちの楽しみを奪うべきではありません。

本事業は、新小学1年生の通学時の負担軽減と保護者の費用負担軽減が目的でスタートしたものの、令和5年度の新小学1年生の多くが市販のランドセルを購入済みであり、本来に通学用かばん支給をすることが本来の目的を果たしているとは思われません。

また、提案理由についても、当初の通学用かばんから多目的に活用可能なかばんとなるなど、一般的には考えられないかばんの使用方法などに大幅に変更されております。

このようなことから、本事業の目的の趣旨からして、事業内容を通学用かばん支給の一边倒ではなく、通学用かばんと同額程度のお祝い金を支給する事業にするほうが、平等に保護者の負担軽減になり、喜んでいただけたと思われれます。

2点目に、8款土木費、6項都市計画費、公園整備事業の新たに設置される避難所トイレ整備事業の向島運動公園海側テニスコートに防災の観点から新たに設けられるトイレについては、向島運動公園内でも防災高潮ハザードマップ上、最も危険な場所への新設が計

画されておりますが、市民にはハザードマップの重要性を示しておきながら行政は何でもありなのでしょう。とにかく市民の命を守る観点からして、避難所トイレは防災上最も安全な場所に設置すべきと思われます。

以上の理由で、計上されております市内3か所に整備が予定されているトイレのうち、約6,100万円もの事業費を要する向島運動公園海側テニスコートへのトイレの設置は不適切であります。よって本案を提出いたします。

○久保委員長 これより修正案に対する質疑に移りますが、その前に各会派内での調整等が必要でしたら暫時休憩といたしますが、いかがいたしましょうか。進行でよろしいですか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○久保委員長 それでは、ただいまの修正案に対し、質疑を求めます。ございませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○久保委員長 ないようですので、以上で質疑を終結し、修正案及び原案について一括して討論を求めます。

○清水委員 現在審議されております議案のうち、修正案については反対、原案についても反対の立場を表明いたします。

まず、原案についてでございますが、令和5年度当初予算規模は548億8,000万円、過去最大規模となっております。新年度も国が進めておりますデジタル化推進事業について、防府市においても引き続き、行政手続のデジタル化など、事務負担を軽減するための事業そのものに問題はないとしても、セキュリティー上の問題が起きたときの場合の対処や市民への対応なども含めて、反対に市の事務負担の増加は避けられないものと考えます。

さらに加えて、市民のニーズの多様化や市の業務量の増加、また災害時の対応などを考えますと、これまでの行政改革による職員数の減少、とりわけ専門職や技術職の不足は深刻で、職員の配置と業務量のバランスが取れているのか、残業が慢性的になっていないか、またそういったところから職員の健康を壊すようなことが起きていないかなど危惧しており、もっと正規職員の増員を図らなければならないと考えております。

また、山口県教育委員会は2023年度、中学2年生、3年生で1学級当たりの人数の上限をこれまでの35人から38人に増やし、小学校及び中学校への加配を一時的に凍結・削減するとの方針を示し、防府市内の一部の中学校でも38人に増やしているとお聞きいたしました。教員の時間外勤務と持ち帰り勤務の合計が過労死ラインを大幅に上回っている現状に、さらに教員に対して負担を強いるものであり、子どもたちの学ぶ権利と教

員の命と健康を守ることが政治に求められております。

新年度予算では、市民要望を積極的に取り入れた事業も予算化されておりまして、この点では大変評価をいたしますが、以上述べた点で、一般会計予算原案に対しては賛成しがたいとして討論をさせていただきます。

また、修正案についてでございますが、1点だけ述べさせていただきます。

通学用かばん支給事業についてでございますが、私自身も賛否両論の声を聞いております。今後も学校運営協議会、または保護者の方の意見を十分、今後もよく聞いて、それぞれのニーズに合ったものにしていただきたいというふうなところを要望しておきます。

以上で討論を終わります。

○久保委員長 ほかにございませんか。

○河村委員 議案第31号令和5年度防府市一般会計予算に対し、「公明党」として修正案に反対、原案に賛成の立場で討論をいたします。

まず、通学用かばん支給事業につきましては、事業説明に保護者の負担軽減とあります。予算参考資料360ページに小学校就学援助事業があります。これは、経済的に就学が困難な世帯を対象に援助する事業で、新入学生に対しては入学時に必要な学用品等を支給しております。

昨年9月定例会での決算資料を見ますと、令和3年度で934人、15.3%と多くの方が利用されております。この事業につきましては全国で公明党が推進し、新入学生に対しては平成30年度から支給時期を6月頃から入学前にもできるよう変更になりました。市教委によりますと、来月、この令和5年春への入学前の就学援助費支給では115人、実に1割を超える多くの方が申請に来られたと伺っております。さらに、先週からは入学後の支給対象の申請が始まりましたが、窓口にも多くの方が御相談に来られていると伺っております。

また、就学援助を申請されなくても、経済的に御苦労されている御家庭のお声も聞いております。このような多くの経済的に困難を感じる家庭に対する援助として、この通学用かばん支給事業は大切な事業であると認識しております。

また、通学用かばん、ランドセルにおきましては高額化している実態がございます。日本鞆協会ランドセル工業会によりますと、2022年のランドセル購入金額の平均は5万6,425円で、10年前の平均価格3万7,400円よりも約2万円も上昇しているようで、昨今ではラン活と言われておりますが、高機能化、高額化が加速していると言われて、そのため行政への対応の必要性がたびたびマスコミでも報道されていることも申し添えさせていただきます。

さらに、荷物が重すぎて身体や心に不調を来すランドセル症候群が今話題になっております。教科書の大判化、ページ数の増加が進み、ある調査ではランドセルの重さは軽くて5.7キロ、平均体重21キロから22キロの小学校1年生にとって、大人、これは体重五、六十キロと仮定いたしますと、大人が15キロ以上の荷物を持つのと同じであると報道され、この点についても行政の対応の必要性がマスコミで頻繁に報道されており、軽量化された今回の防府市独自の通学用かばんに期待されております。

また、全ての子どもに支援をとということですが、現在、第5次防府市総合計画において、ほうふっ子応援パッケージとして、全ての子どもに妊婦の健康サポート、子どもの誕生・成長サポートなど、切れ目のない支援を本市は行っておりますが、このパッケージに今回の通学用かばんが追加されることで、全ての子どもが対象となるという認識でございます。

これらの点から、今回の通学用かばん支給事業では、本市独自の安全・安心でコンパクトな通学用かばんが支給されますことから、この事業の予算化が必要であると考えます。

また、時代の要請の変化に伴い、さらなるかばんの改良も必要になってくるのではないかと思いますので、この点もどうぞよろしくお願いいたします。

次に、公園整備事業の向島運動公園トイレ新設工事につきましては、予算委員会で執行部から説明がございましたように、公園施設利用者が使用するトイレで、災害時にも活用できるトイレであると認識しております。

まず、確認のために公園の管理棟職員にお聞きしたところ、大会開催時には女性用トイレに10名程度並ぶことがあるとのことでございます。したがって、日常の使用について必要性があると考えております。

また、防災の点でございますが、避難場所は様々な災害が想定されており、実際に起きた災害に応じた避難が必要であります。あらゆる災害に対応するために防災上大事な点は避難の多くの選択肢があることであります。

以上により、公園整備事業につきましても予算化が必要であると考えます。

また、原案につきましては、まず初めに、本予算案は第5次防府市総合計画の着実な前進とともに、時代の要請であるカーボンニュートラルやデジタル化の着実な推進のほか、物価高騰対策など市民生活や中小企業への経済対策等、令和4年度12月補正予算とともに15か月予算で切れ目のない政策になっている点を高く評価いたします。

また、市民生活支援のために防災・減災等の安心・安全対策や、駅周辺整備のまちづくりのほか、妊産婦への伴走型支援等、子育て支援やインクルーシブ遊具、あるいは野球場の整備など、福祉面や教育面においても重点を置かれた予算である点も、「公明党」とし

て要望してまいりましたことから高く評価いたします。

最後に、本予算案では厳しい財政状況の中、予算編成時には約20億円と見込まれた財源不足を、国のデジタル関係の交付金や脱炭素債などの積極的な活用により、最終的な財源不足を13億9,000万円まで圧縮されたことにつきましても高く評価しております。

以上、令和5年度は第5次防府市総合計画の3年目でもあり、新庁舎建設、広域防災広場の大型事業が本格的に進む重要な1年となります。全ての事業がSDGsの基本理念である、誰一人取り残さないとの精神で、各事業一つ一つに取り組んでいただきたいことを要望いたしまして、原案に対し賛成討論といたします。

以上でございます。

○久保委員長 ほかにございませんか。

○藤村委員 議案第31号令和5年度防府市一般会計予算に、会派「自由民主党」は修正案に反対、原案に賛成の立場で討論をさせていただきます。

まず、修正案の向島運動公園海側テニスコートのトイレです。これは令和2年12月定例会、私の一般質問におきまして、平成28年の熊本地震を契機に本市の地域防災計画を見直したことにより、向島運動公園を緊急避難場所として位置づけ、現状、不足するトイレについては今後、実情に合わせ増設するとの回答をいただいております。

また、高潮でということが御意見としてございますが、向島運動公園は高潮の際、避難場所には設定はされておりません。一般的には高潮以外の災害のほうが圧倒的に多く、地域防災計画に位置づけられている以上、災害対策基本法にもあるように、緊急時における総合的かつ機能的な活動が図れるよう、危機管理体制の整備に努めなければならないことに忠実に対応されており、会派「自由民主党」としては高く評価しているところです。

向島テニスコートは年間40以上もの大会が行われております。特に中学校体育連盟、高校体育連盟、市テニス協会、市ソフトテニス協会など、多くの大会が行われております。コロナ禍以前には年間3万3,000人を超える利用者が訪れ、今年度でも2万2,000人以上の利用者が訪れております。私も一般質問する際には何度も足を運び、利用者の声や中学生やその保護者の皆様にお話を伺い、多くの要望の声があること、また特に競技人口の多い女子が海側テニスコートを使うことが多いことから、多くの、トイレを要望する声があることを知りました。災害時以外では、こうした利用者の声に応えるトイレとなると確信をしております。

次に、小学校、新生通学用かばん支給事業ですが、これは昨年度の当初予算でも議決された継続事業です。防府市議会基本条例第2条第4項には、議会は議決責任を深く認識し、市民等に対して、情報提供及び情報公開を積極的に推進するとともに、説明責任を果

たさなければならないと記載されております。

このため、会派「自由民主党」では積極的に情報提供等を行った結果、私の周りでは不平不満を言われた方はいらっしゃいませんでしたし、また逆に、次年度以降も続けてほしい旨の御意見もたくさん聞いております。多くの方が期待されておりますので、今さらかばんを支給しない修正案には反対せざるを得ません。

そのほか、原案は新庁舎建設をはじめ、まちづくりの推進、安全・安心対策、防府・未来へのネットワークの構築、子育て支援など、会派「自由民主党」が要望した多くの事業を取り込んでいただいたことにより、昨年度の過去最大を更新する548億8,000万円という予算規模となりました。

私たちが一番評価しているのは、ただ借金をして予算を増やしたのではなく、将来に大きな負担を生じさせることなく大幅に予算を増やせたことを申し上げ、修正案に反対、原案に賛成の立場で討論とさせていただきます。

○久保委員長 ほかにございませんか。

○吉村委員 会派「敬天会」として、議案第31号令和5年度防府市一般会計予算の修正案に反対、原案に賛成の立場で討論させていただきます。

まず1点目の通学用かばん支給事業です。私も娘が入学するので当事者ではありますが、若干の色や機能について不満の声がありましたが、まだ1年目ということで、今後、マチコミメール等を使ってアンケートを取るなり、いろいろ修正、改善していけば非常にいいものが出来上がるのではないかと感じております。

また2点目の向島運動公園のトイレにつきましては、高潮以外の様々な災害が発生する場合がございますので、以前の議会の中でも、様々な場所に今後造っていきますというお話もありましたので、向島運動公園に造るのは妥当ではないかと思えます。

それと原案につきましては、24日の本会議にて討論させていただきます。

以上です。

○久保委員長 ほかにございませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○久保委員長 討論を終結して、お諮りいたします。

初めに、和田委員提出の議案第31号の修正案を挙手により採決いたします。

和田委員提出の修正案について、これを承認することに賛成の委員の挙手を求めます。

〔賛成者 挙手〕

○久保委員長 挙手少数でございます。よって、和田委員提出の議案第31号の修正案は不承認となりました。

ただいま修正案が不承認となりましたので、次に、原案について採決いたします。
議案第31号について、これを承認することに賛成の委員の挙手を求めます。

〔賛成者 挙手〕

○久保委員長 挙手多数でございます。よって、議案第31号については、原案のとおり承認されました。

以上をもちまして、当委員会に付託されました案件についての審査を終了いたします。
これをもって予算委員会を閉会いたします。大変お疲れさまでした。

午前10時23分 閉会

防府市議会委員会条例第30条第1項の規定により署名する。

令和5年3月20日

防府市議会予算委員会委員長 久 保 潤 爾